

## 診療情報を利用した臨床研究について

2023年7月12日

虎の門病院血液内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

2013年10月1日～2023年8月31日の間に、虎の門病院血液内科にて白血病・リンパ腫など血液疾患と診断された患者さん。

### 【研究課題名】

白血病・リンパ腫など血液疾患における網羅的遺伝子変異解析

### 【研究の目的・背景】

急性骨髄性白血病は、原因となる遺伝子異常によっては再発のリスクが高く、化学療法では約6～7割の症例が再発します。リンパ性白血病やリンパ腫においても、遺伝子異常が疾患発症の引き金であるものの、複数の異常が蓄積するために、どのように治療を開発するかについて未だ結論が得られていません。

また、染色体転座と特定の遺伝子異常が同時に認められる症例もあることが分かってきており、遺伝子異常の数と種類によって、白血病細胞の抗がん剤治療に対する感受性が異なることも知られています。これらのことから、患者さんの白血病細胞においてどのような遺伝子変異が、いくつ、どのように蓄積することで白血病が成立するか、また、治療抵抗性を獲得するかを解析することが今後の新規薬剤の開発において極めて重要と考えられます。

### 【研究のために診療情報解析研究する期間】

2013年10月1日～2035年3月31日

### 【単独／共同研究の別】

多施設共同研究

### 【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌

等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院血液内科 内田直之のもと研究終了後もしくは研究成果発表後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形廃棄します。

【診療情報・検体（試料）を虎の門病院・虎の門病院分院の院外へ提供する場合】

診療情報・検体（試料）は、虎の門病院 で特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえたうえで、理化学研究所・生命医科学研究センターへヤマトクール便で提供いたします。

【利用する診療情報】

診療情報：年齢、性別、診断名、HLA 型、採取時病期、採取日、主治医名

検体（試料）：骨髓液、末梢血、臍帯血（いずれも検査等に際して採取される残検体）

【研究責任者】

血液内科 内田 直之

【利用する者の範囲】

理化学研究所横浜研究所・生命医科学研究センター

ヒト疾患モデル研究チーム・チームリーダー 石川 文彦

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2029 年 3 月 31 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 血液内科 高木 伸介・内田 直之

電話 03-3588-1111(代表)